

第2次千葉市文化芸術振興計画 2次評価シート

基本施策名	基本施策1_文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」			
	(2)参加・体験活動の推進			
事業名	高校生美術館体験プログラム			
実施主体	指定管理者	(名称) 公益財団法人千葉市教育振興財団		
市との関わり	その他	企画提案業務	指定管理者	
市担当課	文化振興課		(連絡先) 245-5961	(内) 90-25

【評価指標】

1 基本施策との適合（目的設定の妥当性、目的の達成度、他の基本施策への波及）
（目的設定の妥当性、他の基本施策への波及） 2次評価は実施主体の自己評価内容と同等 （目的の達成度） 参加者実績が1人のみであり、事業が成立していると言い難い状況である。
2 戦略的な視点・基本姿勢との適合（市民主体、こども・若者、領域の広がり）
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
3 事業のねらい（設定の妥当性、達成に向けてのアプローチ）
事業のねらいやアプローチ方法について不明瞭な部分があり、どのような内容を高校生に学んでほしいのかが伝わりにくいと言える。
4 市民との関わり（満足度、周知度）
（満足度） 2次評価は実施主体の自己評価内容と同等 （周知度） ・募集チラシにおいて、高校生に何をしてほしいのか、どのような高校生に参加してもらいたい事業なのかが伝わりにくい作りになっている。応募者が1人のみであったことを踏まえ、その要因を分析した上で募集方法について再度見直しを行う必要があると考える。
5 効果（活動の活性化、費用対効果、その他の効果）
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等

【提 言】 ※評価指標毎の評価結果を踏まえ、「今後の方向性」を選択

今後の方向性	☐ A：継続	☐ B：改善	☒ C：見直し
※「今後の方向性」の選択結果を踏まえ、今後の事業実施に向けてのご意見・アドバイス等を記載 ・今回の参加者実績を踏まえ、参加者の募集方法を見直す必要があると考える。 ・今後、対象とする高校生に何を学んで欲しいのかというメッセージを明瞭にして、体験の中身をデザインし、それを広報として示していくことが必要であり、事業の抜本的な見直しが求められる。			